

あらき ともこ  
荒木 友子さん（浜田市三隈小教諭）  
2017年度1次隊 青年海外協力隊  
派遣国：マダガスカル 職種：小学校教育  
現在：浜田市三隈小教諭  
2020年10月4日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 衛生環境の向上へ奮闘

2017年6月から19年3月まで、マダガスカル中央部の県教育局に青年海外協力隊として派遣され、小学校の衛生環境向上、モラル向上のために活動した。

近隣15校のうち11校には水道がなく、残る4校は水道に鍵が付けられ児童が使えない状態だった。トイレはもちろん落下式。掃除されているトイレはまれである。初めは、どうしてこんなに不衛生なことをするのかと思っていた。しかし、彼らと深く関わっていくうちに、水やお金が貴重なもので、大切に扱っているという背景が分かってきた。



保健委員会の児童たちによる手洗いの啓発活動

とはいえ、不衛生が原因で病に倒れる人は多い。そこで長期的な視点から正しい知識や意欲を持ってもらおうと、学区長や教員に向けてワークショップを行ったり、児童による委員会を設立したりした。マダガスカル人の同志たちと語り合い、奮闘した日々は私の宝物だ。

現在は、島根県の小学校教諭に復帰している。昨年度は栄養教諭、国際協力機構（JICA）、行政と協力し、世界6カ国の伝統料理を「世界味めぐり給食」として紹介した。その国の方を学校に招いたりインターネット電話で交流したりして、児童がその国の文化やつながりを感じられるようにした。

また、児童の給食の残菜から世界の食糧問題を考えたり、地域の特産物の学習に取り組んだりした。国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」について職員研修を行い、取り組みを児童にも発表した。児童が「自分ごと」としてさまざまな物事を考え、地域や世界を変えていく人材になると信じ、日々働いている。